

がんの子供を守る会

ゴールドリボン

チャリティーコンサート

GOLD RIBBON CHARITY CONCERT



Kyoko Takazawa

竹澤 恭子 (ヴァイオリン)



Akira Eguchi

Photo:堀田力丸

江口 玲 (ピアノ)



Program

メンデルスゾーン：ヴァイオリン・ソナタ ヘ長調

プーランク：ヴァイオリン・ソナタ

クライスラー：ドヴォルザークの主題による
スラヴ幻想曲

ショパン：ノクターン 嬰ハ短調

ワーグナー：ロマンツァ

クライスラー：愛の喜び

バルトーク：ルーマニア舞曲

Photo:Tetsuro Takai

2010年 3月6日(土)

開場 13:30 開演14:00

第一生命ホール

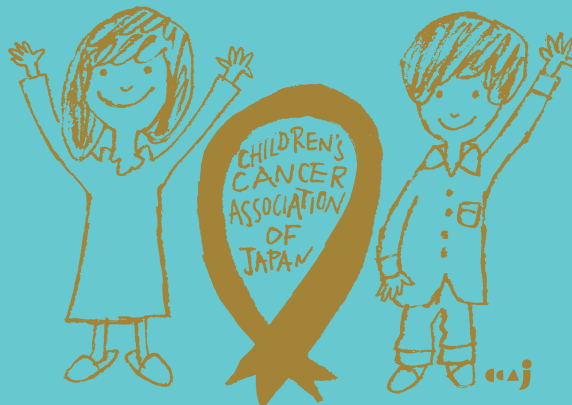
会場アクセス | 東京都中央区晴海1-8-9(晴海トリトンスクエア内)
都営地下鉄 大江戸線/「勝どき駅」A2a出口 徒歩8分
<http://www.dai-ichi-seimei-hall.jp/>

入場料 4,000円(全席自由)

※コンサートの収益と会場での募金の全額は、財団法人がんの子供を守る会へ寄付させていただきます。

チケットのお申込み | 財団法人がんの子供を守る会 TEL:03-5825-6311
ホームページでもご案内しております。 <http://www.ccaj-found.or.jp/>
チケットぴあ TEL:0570-02-9999 (Pコード：336-459)

※内容はやむを得ぬ事情により一部変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。



Gold Ribbon

主催 | 財団法人がんの子供を守る会
チャリティーコンサート実行委員会

マネジメント | KAJIMOTO

協力 | タカギクラヴィア株式会社
はたこうしろう・Illustration
Yoshida Design Office

がんの子供を守る会 ゴールドリボンチャリティーコンサート

GOLD RIBBON CHARITY CONCERT



ごあいさつ

チャリティーコンサート実行委員会委員長 はしずめ こうへい
財団法人がんの子供を守る会理事 橋都 浩平

「がんの子供を守る会チャリティーコンサート」も第8回を迎えることができました。これも皆様のご支援によるものと深く感謝申し上げます。今回のコンサートはゴールドリボンチャリティーコンサートとして行われます。ゴールドリボンは小児がん克服のシンボルマークですが、とくに小児がん経験者の支援の象徴でもあります。多くの人々の支援によって、小児がん経験者とその家族が、ますます充実した生活を送られることを祈念したいと思います。

がんという病気に対する人々の認識が大きく変わりつつあります。高齢化社会をむかえ、生涯においてがんを体験する人の割合は2人に1人に近づいています。つまり半分の人否が応でもみずからがんを体験することになります。そして治療成績が向上するとともに、がんの告知が当たり前のことになり、多くの人が自分のがん体験を語るようになってきました。しかし成人のがんに較べると小児がんについては、まだまだ認識が不十分で、子どもにもがんがあるの？と思われる方も多いのではないかと思います。実際には小児がんの治療成績は成人のがん以上に良好で、多くの小児がん経験者が元気に生活しています。このコンサートが小児がん、そして小児がん経験者に対する認識を変える一つのきっかけになれば幸いです。

さて今回の演奏者はヴァイオリニストの竹澤恭子さんです。竹澤さんは世界を股にかけて活躍しているヴァイオリニストですが、何よりもその音楽性の高さから評価されている方です。また1児の母でもあり、その意味でもこのがんの子供を守る会のコンサートに本当にふさわしい演奏者だと思えます。ぜひ皆様に竹澤さんの美しい音色、素晴らしい音楽性、卓越したテクニックをお楽しみ頂きたいと思えます。

CCA J

財団法人 がんの子供を守る会
Children's Cancer Association of Japan

小児がんで子どもを亡くした親たちによって1968年10月に設立され、約40年間、小児がん患児・家族が直面している問題や悩みを軽減すべく、多くの方々の参加と支援のもとに様々な活動を行っています。また、2006年からは、ゴールドリボン基金を設立し、小児がんへの正しい理解と支援の輪を社会に広める活動を始めています。



ゴールドリボンとは

小児がんに関するあらゆる支援の世界共通のシンボルマークです。

様々な啓発キャンペーン等で使用されるカラーリボンにはそれぞれメッセージがあり、その中で小児がんのカラーはゴールドとされています。世界中で多くの団体がゴールドリボンを掲げ小児がんに関する支援活動を行っており、日本でも当会をはじめ、様々な団体がゴールドリボンによる活動を行うようになってきています。

Kyoko Takezawa

竹澤 恭子 Violin

3歳よりヴァイオリンを始め、桐朋女子高校音楽科在学中に第51回日本音楽コンクール第1位、併せてレウカディア賞、黒柳賞を受賞。1985年よりジュリアード音楽院に入学し、ドロシー・デイレイ、川崎雅夫両氏に師事。1986年第2回インディアナボリス国際ヴァイオリン・コンクールで優勝。

日本の主要オーケストラとは、国内はもとより海外ツアーのソリストとして度々抜擢されおり、海外ではニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、フィラデルフィア管、モントリオール響、ロンドン響、バイエルン放響、ロイヤル・コンサートヘボウ管などと共演。指揮者では、クルト・マズア、ズービン・メータ、シャルル・デュトワ、リカルド・シャイー、ケント・ナガノ、クリストフ・エッセンバッハ、ヘルベルト・ブロムシュテット、小澤征爾等と共演している。室内楽では、フェスティバル・ソロイスツ(サントリーホール)のコーディネクターを務め、アイザック・スターン、ヨーヨー・マと共演。2002年から2003年にかけては、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を全国各地で3回に渡って行い絶賛を博した。2005年にはトロント交響楽団、リル国立管弦楽団の定期演奏会、セントルークス室内管弦楽団カーネギーホール公演に出演。またアラン・ギルバート指揮ハンブルク北ドイツ放送交響楽団の日本ツアーのソリストをつとめた。2007年には、デビュー20周年記念シリーズをスタートさせ、2009年11月-12月にかけては、シリーズ3年目として、東京のサントリーホールをはじめ、国内主要都市で、ブラームスのヴァイオリン・ソナタ全曲によるリサイタル・ツアーを、2010年1月にはシカゴ交響楽団の定期演奏会に出演予定。

RCAレッド・シールより多数のCDをリリース。1993年第3回出光賞受賞。
使用楽器は、日本音楽財団より貸与された1710年製作のアントニオ・ストラディヴァリウス“カンポセリーチェ”(Camposelice)

Akira Eguchi

江口 玲 Piano

東京生まれ。東京芸大附属音楽高校を経て東京藝術大学音楽学部作曲科を卒業。ジュリアード音楽院のピアノ科大学院修士課程、及びプロフェッショナルスタディーを修了。ピアノをH.ステッシン、外山準、金沢明子に、伴奏法を故S.サンダース、作曲を佐藤真、北村昭、物部一郎の各氏に師事。

1992年のニューヨーク・リサイタルデビューを始めとし、アメリカ、ヨーロッパ等各地で活躍。これまでにカーネギーホール、ウィーンのムジークフェライン、パリのシャンゼリゼ劇場等でも演奏し、また世界各地の音楽祭に参加している。レコード芸術から2枚連続で特選盤の評価を得、快挙となったアルバム、「Dear America」、「巨匠たちの伝説」をはじめとし、「展覧会の絵」(ホロヴィッツ編)、「ライヴ! ソナタ集」、「ライヴ! 小品集」など数多くのCDが発売中である。

これまでに、ジュリアード音楽院からウィリアム・ベテック賞と、ウィリアム・シューマン賞を受賞。同校のジナ・バックカウアー奨学金コンクールとコンチェルトコンペティションにて第一位を獲得、そのほかパリ国際室内楽コンクール入賞など優秀な成績をおさめている。

現在はニューヨークに在住し、演奏活動とともにニューヨーク市立大学ブルックリン校で教鞭を執っている。また2006年より洗足学園音楽大学大学院の客員教授を務めている。

財団法人 がんの子供を守る会

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-3-12 TEL:03-5825-6311
<http://www.ccaj-found.or.jp/>

病气や療養生活のご相談は、いつでもお受けしております。

相談専用電話：03-5825-6312